

## 【情報Ⅰ】

### <学習内容について>

社会とのかかわりの中で、情報や情報技術に関する事柄を理解し、社会のモラルに反することなく実践することを通じて、豊かな情報社会の創造を実現できる力を身に付けることを目標にしましょう。

### <教材について>

教科書：『新編情報Ⅰ』（東京書籍）

副教材：『新編情報Ⅰ 資料ノート』（東京書籍）

### <レポートについて>

レポートの回数は、前期・後期それぞれ2回です。

学習内容は以下の通りです。

#### [前期]

第1回：「第1章 情報で問題を解決する」

第2回：「第2章 情報を伝える」

#### [後期]

第1回：「第3章 コンピュータを活用する」

第2回：「第4章 データを活用する」

「第5章 活動して提案する」

### <学習の進め方について>

教科書・学習ノートをよく見ながらレポートを仕上げましょう。計算を必要とする問題など、教科書や学習書を見ただけでは分かりにくいところはスクリーング時に解説します。レポートの完成が難しいのであれば、早めのスクリーングへ参加をして、理解してからレポートを提出することをお勧めします。

### <スクリーングについて>

前期・後期ともに2時間連続のスクリーングに1回出席することが必要です。

前期はワープロソフト「Word」の演習、後期は表計算ソフト「Excel」の演習を行います。

スクリーング時に配布する演習プリントも試験範囲に含まれますので、きちんと学習しましょう。

### <評価について>

評価は、試験成績と平常点（レポートの成績、実技成績、学習態度等）を以下の観点をもとに総合して100点法で行い、30点以上を合格とする。

#### [知識・技能]

効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めている。

#### [思考・判断・表現]

様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力が身に付いている。

#### [主体的に学習に取り組む態度]

情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を身に付けている。